

# 大森小版いじめサイン発見シート

横手市立大森小学校生徒指導部

いじめの早期発見は、いじめへの適切な対処の前提となるものです。子どもの小さな変化やいじめの兆候に早く気付く早期発見、気付いた情報を確実に共有し早期対応を図ることを基本とします。本校では、「教師的的確な実態把握の取組」「日常における教育活動における子どもを観察する意識的な取組」を早期発見の重点内容に入れています。子どもたちが発する「小さなサイン」を見逃さずに、発見することが大切です。

## いじめられている子ども

### 朝の会

- 遅刻・欠席が増える（3日目めどに）。
- 登校完了ぎりぎりの登校が目立つ。
- 担任と視線が合わず、うつむいている。
- 体調不良（頭痛・腹痛・吐き気等）を訴えることが目立つ。
- その子どもの周囲がなんとなくざわついている。
- 担任が教室に入ると、その子どもから周囲がざっといなくなる。
- 読書などのへの取りかかりがいつも遅い。
- 読書の本や教科書、ノートなどに落書きや汚れがある。
- 衣服が汚れていたり、破れていたりする。

### 授業中

- 保健室やトイレによく行く。
- 学習用具、机、イス等が乱れている。
- 教科書、ノート、ワーク等に落書き、汚れが目立つ。
- 衣服が汚れていたり、破れていたりする。
- 決められた座席と違う場所に座っている。
- 他の子どもから発言を強要されたり、突然個人名が出される。
- グループ分けで孤立する。グループ活動で他の子どもとの距離がある。（グループでの話合いにおける距離、態度等も）
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える。
- 周囲の子どもが（と）机、イスを離して座ろうとする。

## 休み時間

- 休み時間に自分の席から離れないようにしている。
- 移動教室での移動が一人のときが目立つ。
- 訳もなく階段や廊下を歩いていたり、用事もないのに職員室、保健室に来たりする。
- いろいろな子どもにトイレに誘われている。
- 理由もなく服を汚していたり、擦り傷等が見られたりしている。

## 給食時間

- 机をよせて席を作ろうとしない。寄せても隙間がある。
- 並び順番があるとき、特定の子どものそばに並ばない、いつも最後の方に並ぶ。
- 笑顔がなく、黙って食べている。
- いつも同じ子どもがグループの片付けをさせられている。
- 弁当を一人で食べていることが多い。
- その子どもだけの配膳がされていなかったり、後回しにされている。

## 帰りの会

- 配付したプリント等が渡らない。
- あわてて下校する、いつまでも学校に残る。
- 下校時に荷物を持たされたり、一人で帰ることが多い。
- 靴やカバン等の持ち物が紛失する。靴箱やロッカー、机にいたずらされている。
- 特定の子どもの発表に、周囲が不自然にざわついたり、目配せする周囲が現れる。

## いじている子ども（加害者）

- 特定の子どもの、周囲が異常に気を遣い、迎合している。
- 子どもの発言に対して、他の友達と顔を合わせたり、笑ったり、さげすんだように反応している。
- 言葉遣いが荒くなったり、特定の人にだけしか分らないサインや隠語を使っている。
- 教師が近づくと、変に仲のよいふりをする。
- 金品や物の貸し借りを頻繁に行っている。
- 教室や廊下、階段で特定の仲間同士集まり、ひそひそ話をしている。
- 会話の中に差別意識が見られる言動をとる。